



No. 51

平成29年4月25日発行

写真タイトル 春の訪れ（十日町高校写真部）

十日町市
Tokamachi
ぎ"かい
だより

平成29年度予算を可決！



予算審査報告

予算審査特別委員長 小林 均

平成29年度予算審査特別委員会に付託された、議案第56号平成29年度十日町市一般会計予算、議案第57号平成29年度十日町市国民健康保険特別会計予算から議案第63号平成29年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計予算までの8件及び議案第64号平成29年度十日町市水道事業会計予算の合わせて9件は、いずれも原案可決であります。

予算審査特別委員会正副主査会議において、特に分科会から出された意見、要望について何点か申し上げます。市長並びに行政当局におかれましては、市政運営に反映されますよう、強く要望するものであります。

◆一般会計 歳入

有利債の活用により施設整備が図られているところではありますが、供用開始後には維持管理経費が発生し、経常収支に大きな影響を与えることとなります。今後も厳しい財政状況が続く中、住民サービスの低下につながらぬよう、施設整備に当たっては十分な検討を望みます。

◆一般会計 歳出

2款 総務費

防災行政無線整備事業について、消防署、FMとおかまち等、関係者とも十分な協議を行い、真に市民が必要とするものを整備してほしい。また、わかりやすい資料を提示しながら、市民の声を聞くなど、慎重に検討を重ねた上で、整備方針を決定されることを望みます。

3款 民生費

児童遊園施設建設事業について、これまでの委員会での議論や、子育て世代からのアンケート結果、保護者からの意見などを、十分反映させた設計を望みます。

4款 衛生費

懸案だった、県立十日町病院附属看護専門学校（仮称）の開設に向けて大きく動き出したことは、地域医療の充実にとどまらず、まちづくりの観点からも大きな起爆剤となるもので、高く評価します。医療福祉総合センターの整備計画と併せて引き続き取り組むこと、一日も早い事業展開を望む等、複数の意見がありました。また、学生確保に必要なことは早くから着手すべき、との意見がありました。

6款 農林水産業費

平成30年度から、経営所得安定対策の米の直接支払交付金が廃止され、米政策が大きく変わるわけですが、

国・県に働きかけ、農家の所得安定化のための施策に取り組むことを望みます。

8款 土木費

道路橋りょう費について、上沼道の八箇トンネルが、平成29年度中に開通することは、当市にとって、大変喜ばしいことであります。今後は、仮称「十日町インター」までの早期事業化を国・県に働きかけるとともに、市としては、これに関わるアクセス道路の事業の推進に、鋭意取り組まれることを望みます。

10款 教育費

不登校対策について、関係者がお互いに信頼関係を保ちながら、各種対策事業に取り組まれることを望みます。また、教育委員会のこれまでのご努力は十分に理解してはおりますが、学校教育の現場において、適切な対応を行うことが可能となるよう、調査研究、研修会への参加のほか、十分な教職員配置や、多忙化解消のための予算の確保を望みます。

◆介護保険特別会計

地域のお茶の間、サロンはマンパワーが必須であります。熱意を持った人材の育成と事業に対する助成を拡充していただきたい。

◆簡易水道事業特別会計

水道管の老朽化が進んでいると考えられるので、計画的に更新を行い、安全、安心な飲料水の提供を継続していただきたい。

◆下水道事業特別会計

浄化槽維持管理費について、引き続き進めていただくとともに、市有の集会所施設については、合併浄化槽の導入により、トイレの改修を進めていただくことを望みます。

以上、歳入歳出について、いくつか重要項目を申し上げました。

最後に、平成29年度予算審査特別委員会設置以来、熱心に審議いただきました各委員の皆さま、そして行政職員各位のご協力に感謝申し上げ、委員長報告とさせていただきます。

平成29年度予算に対する討論

採決に先立ち、予算案に反対・賛成の立場から討論が行われました。その要旨を掲載します。

賛 成 【庭野政義議員】



私は、本定例会に上程されました、平成29年度十日町市一般会計予算と7つの特別会計予算及び水道事業会計予算について、賛成の立場から意見を述べさせていただきます。

一般会計予算案では、総額350億円、前年比で6.8%減、25億600万円の減額であります。これは、普通交付税の合併算定替による、加算額の段階的縮減への対応のほか、市民文化ホールの建設が完了に向かうものであります。一般会計と7つの特別会計を合わせた予算総額は、548億2,930万円で、前年比4.1%の減、23億6,300万円の減額であります。本年度から、本格的に普通交付税の合併算定替による加算額の、段階的縮減がスタートしたことで、今後、数年間は厳しい財政状況が継続することは、もうすでに承知済みであります。市長が施策方針の中で述べられているように、合併した市町村のみに与えられた特権を最大限活用したことで、30年から50年先を見据えた投資をほぼ完了できたことは、財政運営の礎が備わったものと期待は大きなものであります。長年の懸案であった命の道、高規格道路の一部、八箇峠トンネルの供用開始をはじめ、市民文化ホール、中央公民館のオープンなど、新たなステージのスタート元年であります。また、安心して子どもを産み、育てられるまちを目指して、9月1日から妊産婦医療費助成の入院時一部負担金の無料化、そして子育てへの支援としても、妊産婦と同様に子ども医療費助成などの入院時の一部負担金も無料にするといった、県下でも抜きでる施策などは市民の最も関心の高いものであります。地域医療の充実としても、平成29年度中には、十日町簡易裁判所用地の取得及び実施設計を行うなど、医療福祉総合センター整備事業に着手する積極的な事業展開は、将来的に市民に夢のあることであり、評価に値するものであります。

結びに、固定経費の削減や市債残高の圧縮を図り、財政健全化をますます押し進め、自主財源の確保を求めることは、安心・安全なまちづくりにつながるものと考えます。住み継がれるまちになることを市民が一番期待するものであり、子供たちが夢を、高齢者が安心を一層持ち続けられることを望み、平成29年度予算に対して、私の賛成討論といたします。

反 対 【安保寿隆議員】



日本共産党十日町市議団は、平成29年度一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計予算に反対する。

国の平成29年度一般会計予算の総額は、97兆4,547億円、5年連続で過去最高となっている。特徴は、税収が大幅に落ち込み、その穴埋めを国債発行で賄ない、軍事費は5年連続で増加して5兆円1千億円を超え、そのツケ回しに社会保障費の自然増分を1,400億円削減。文教予算、中小企業対策費、農業予算なども軒並みマイナス。市の予算は国に大きく左右されている。

市の新年度一般会計予算は、総額350億円、前年比25億5,600円のマイナスと市長就任以来最高の減額予算となっている。国庫支出金、地方交付税など国税還元金が軒並みマイナス。アベノミクスと消費税増税の路線は、すでに破綻していることを示している。

特別会計の4予算は、いずれも構造的欠陥が指摘されているもとで低所得者、弱者へのしわ寄せは許せない。

◎具体的施策の問題点と課題

①市の産業振興について 市の市民所得は、20市中19番目、雇用者報酬は20番目と最下位を継続している。現市政の最大の課題。

内発的、循環型経済振興の観点から中山間地の農林業や建設業、中小零細企業の支援策の強化。福祉サービス事業の充実。専門職などの人材育成や臨時職員の賃金引き上げなどを提案する。

②医療・介護の課題について 魚沼圏の医師不足は県下最高、中山間地の人口減少に拍車。倉俣や室野の診療所の医師確保を。介護施設の増設と地域医療の充実を。

③指定管理、民間委託について 民営化や指定管理は、行政の経費削減を目的にしたもの。労働賃金を引き下げ、待遇を悪化させ、保育等の質を低下させる。

④大地の芸術祭について 一昨年の第6回芸術祭は、11億7,000万円の経費をかけその内、北川氏に5億4,000万円もの巨額の事業を一括委託した。丸投げとの批判が絶えない。契約内容や作品単価等を公表し、北川氏依存体質を改め市民本位の取り組みとすること。市民意見に十分耳を傾けること。

⑤教育について 市の小中学校の不登校児童の人数は県下最高水準。制度の変更や効率化を目的とした管理主義教育では、克服できない。教職員を増やし、児童生徒にしっかり向き合えるようにしていただきたい。

⑥デジタル同報系防災行政無線整備について 機能しない設備を設置しないこと。

⑦基金(貯金)について 財政調整基金が市町村合併時の6億円から30億円に増加した。住民密着型の公共事業、市民の福祉や暮らしの増進を図るために活用していただきたい。

一般会計補正予算

プレミアム商品券発行事業、医療福祉総合センター整備事業など

【補正予算（第7号）】

緊急経済対策に係る経費を専決処分し予算化しました。

〈主な事業〉

◆プレミアム商品券発行事業（産業政策課）

- ・プレミアム商品券の発行に対する補助金の補正 【1,800万円】

◆信用保証協会保証料補助事業（産業政策課）

- ・少雪対策特別融資に係る新潟県信用保証協会保証料補助金の追加 【650万円】

【補正予算（第8号）】

医療福祉総合センターの用地取得、決算見込等による不用額の減額などの補正を行いました。

〈主な事業〉

◆とおかまち応援基金積立金（企画政策課ほか）

- ・ふるさと納税による寄附金の増に伴う積立金の追加 【3,305万円】

◆要介護世帯除排雪援助事業（福祉課）

- ・高齢者のみ世帯等の除排雪経費に対する支援件数の増による委託料等の追加 【1,228万円】

◆私立保育園運営事業（子育て支援課）

- ・国が定める保育単価（人件費分）の増による運営委託料の追加 【1,347万円】

◆公的病院運営費補助事業（健康づくり推進課）

- ・中条第二病院の運営費の支援内容が確定したことによる補助金の補正 【1,383万円】

◆医療福祉総合センター整備事業（健康づくり推進課）

- ・医療福祉総合センターの駐車場整備に必要な用地取得費の補正 【2,318万円】

◆担い手農業経営支援事業（農林課）

- ・農地中間管理機構の利用件数の増に伴う補助金の追加 【327万円】

◆キナーレ修繕事業（観光交流課）

- ・キナーレ回廊のLED照明化に必要な工事請負費の追加 【153万円】

【補正予算（第9号）】

道路除雪経費の補正を行いました。

〈主な事業〉

◆市道除排雪経費（建設課）

- ・市道の除排雪経費の増に伴う委託料の追加 【4億5,450万円】

◆認定外道路除雪事業（建設課ほか）

- ・認定外道路の除雪経費の増に伴う補助金の追加 【900万円】

ホームシェアの取り組みについて 指定管理者制度のあり方について

小林 弘樹 議員

質問 看護専門学校設置を踏まえ、アパート等を探す学生たちをホームシェアで受け入れてはどうかと考えるが

① ホームシェアに対する見解は。② 他

答弁 ① 一人暮らしの高齢者が学生等に部屋を貸し、お互いに生活を送ることと生活に張り合いが生まれ、不安の解消にも通じると思います。学生も住居選びの選択肢が増え、地域との交流で学生生活の充実に資すると考えますがニーズと受入れのマッチング等、導入に向け解決すべき課題は少なくないと思います。② 当市の特性や資源を生かし、将来にわたり学生を確保できる高等教育機関等の誘致を研究し、新規就農や起業を目指す若者等も移住しやすい基盤整備を考えています。

質問 成果を出しても、その努力が指定管理料に反映されないと職員のモチベーション低下、人材の流出などで住民サービスの低下が心配されるが、① 指定管理料を決定する上での課題は。② 評価はどのようにされているのか。③ 指定管理者制度のあるべき姿とは。

答弁 ① 前年度の実績をもとに委託料を予算要求しますが、予算付けを行う市の考え方と相違する場合もあり、指

ホームシェア

自宅の空き部屋を低料金で貸す代わりに、ちょっとした困り事を手助けしてもらいながら暮らす下宿のようなもの。双方とも自立して生活できることが前提で、互いのニーズに合ったルールを事前に決めておきます。

指定管理者制度

文化施設等の公共施設の管理、運営を民間事業者に行わせることができる制度。住民サービス向上と行政コスト削減が期待されています。

定管理者と市の両者が納得のいく委託料の積算には課題も多いと考えます。② 指定管理者の自己評価を施設の所管課が評価します。結果は施設管理やサービスの維持・向上につなげるため指定管理者に通知しています。③ 公の施設の管理に民間事業者の経営手法を活用するとして導入し、より多くの利用者を確保しようという発想で管理経費の削減、利用者へのサービス向上を目的としています。当市も制度上期待される効果を発揮させることが目的であり、あるべき姿であると考えます。

職員の資質向上の取り組み、授産製品販売の向上の取り組みについて

大嶋 由紀子 議員

質問 基本的な挨拶ができていない職員が見受けられます。市民の皆さんにおもてなしの心で心のこもった笑顔と挨拶で親切な対応がしつかりとできる、チーム十日町市役所の職員になつてもいたいと思いますが市長のお考えを伺います。

答弁 市の職員は、市民の皆様にとって一人一人に寄り添う最も身近な立ち位置にいる公務員です。職員に再認識を促し、併せて必要な知識も有し、人間性も豊かなバランスのとれた職員育成に引き続き努めたいと思います。挨拶は人間としての基本だと思っています。私はトップの姿勢が浸透していつているはずだと思しますので、そうしたご指摘は、私の至らなさが発現しているんだなと改めておわびを申し上げます。

質問 福祉施設の職員は、もともと福祉関係の学校出身者の方が多く、物を売ることにたけているわけではありません。見た目やパッケージに対する改善意向も強いことから、開発の手助けをしてくれる専門家からの具体的指導が必要と考えます。そのような助成金を検討いただきたい。

答弁 市内の事業所において、トオコ

ンや外部企業とのコラボで商品開発の取り組みもあり、事業所外の視点も取り入れた取り組み方法等、事業者の皆様と相談しさらに検討したいと考えています。大地の芸術祭のアーティストが絡んだかりんとうなどは、随分売りが上がったと伺っておりますし、私もパッケージ等のイメージ戦略などが売り上げに大きく影響を与える部分だと思っています。ここ数年は新しい商品開発にはまだ至っていませんが、そうしたことも活用しながら、十日町市らしさを、強みを生かせるわけですのでデザイン等協力していただける皆さんと一緒にいいものをつくっていただけるように応援したいと思っています。



授産施設の商品は、「わかふえ」にて購入できます

県立看護職員養成施設について

太田 祐子 議員

質問 ①「県立十日町病院付属看護専門学校(仮)」として具体的予算計上され、長年の悲願である高等教育機関誘致が一気に加速できる光明が見えてきた。このことは、十日町市があらゆる分野においてグレードアップし、一変する好機である。今後のスケジュールについて伺います。②また、建設予定地と現十日町病院の敷地はかなりの段差があるが、このエリアを医療・福祉の総合拠点として設計段階から限りなく誰にも優しい、どんな人でも使えるユニバーサルデザイン手法で取り組むべきことを提案します。

答弁 ①県からは、新年度予算案に看護教員養成費を計上していただき、平成32年度の開校に向けて準備を開始していただきました。1学年40人、3学年で120人定員を想定しているという事です。市が簡易裁判所・検察庁用地に建設を予定している専門学校を含む医療福祉総合センターは、建築面積として約1,000㎡の4階建て、延床面積約4,000㎡を予定しています。28年度中に検察庁用地を取得し、29年度には裁判所用地の取得、そして基本設計及び実施設計の実施を予定しています。建設は、30年度と31年



病院と裁判所の段差

度の2カ年の予定です。総事業費は、28年度から31年度までの4年間で約16億5,000万円と推定しています。②病院と裁判所のところに段差があり、今のところ移動しにくい状況です。専門的な見地から見なければいけません。が、本町西線の勾配を見ながら滑らかにすることはできるかと思っています。県の事業との接合部ですので調整しながら、皆さんに優しい、ユニバーサルデザインを備えることは医療福祉ゾーンのあるべき姿だと思いますので検討していきたいと思っています。

スポーツによるまちづくりについて

涌井 充 議員

質問 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、十日町市を大きく飛躍させるチャンスと捉え、さまざまな取り組みに挑戦するとしているが市長の考えを伺いたい。

答弁 国際的なスポーツキャンプの誘致はもちろん、2020年も一つの通過点と位置づけて、さまざまな交流を推進します。ホストタウン十日町市としては、さらなる国際交流に向けて、部課を超えた組織連携と官民連携でしっかり取り組む所存です。

質問 2018年平昌冬季五輪(ピョンチン)におけるクロスカントリー競技のトレーニングキャンプ誘致について伺いたい。

答弁 クロスカントリー関係者の皆様から各大会の運営について国内でトップクラスと評価をいただきました。国際スキー連盟公認コースに認定され、競技結果等も瞬時にスキー連盟のホームページにアップされます。マスコミにも広く報道され、今まさに追い風が吹いていると感じています。

質問 2030年新潟冬季五輪の誘致活動とクロスカントリー競技会場として立候補の考えを伺う。

答弁 新潟経済同友会の皆さんが新潟開催の招致活動を始めておられます。



吉田クロスカントリー 公認コース

オリンピック会場になることは大変ありがたいが、この実現を切に願います。今後も誘致に努めるとともに各競技の世界基準の指導者、選手、人材を育てる環境整備に取り組み、新潟開催がさらに近づくよう、オール十日町体制で推進したいと考えます。

質問 スポーツ推進計画での生涯スポーツ、障がい者スポーツの底上げの考えを伺う。

答弁 現在、当市における10年間の状況を検証し、さらなるスポーツの推進を目指してH29〜38を期間とするスポーツ推進計画を策定しました。現状を踏まえ、各分野ごとの事業連携を密にしなが、誰でも、いつでも、どこでも広くスポーツに親しめる環境を整えていきたいと考えています。

松之山温泉の活用と 小水力発電について

村山 邦一 議員

質問 松之山温泉バイナリー発電は、市民に大きく期待された事業だった。環境省の直轄事業で「温泉発電システムの開発と実証」試験であり、H23、28まで行われた。将来的な事業発電として採算が困難との結果で市も継承を断念したが温泉の活用は、地域資源として有効であり積極的な活用が必要と考える。そこで①バイナリー発電の検証と3号井の現状②今後の活用の検討は③小水力発電計画と現状について

答弁 ①環境省から報告書が公表され

検討を進めます。③宮中取水ダムの維持流量を活用した発電は今年度に基本計画を策定しています。今後、詳細な設計、水利権等各種申請手続きを進めます。37年度までに運転を開始したいと考えています。農業用水路を活用した発電について、鑑坂地区は安定水量を確保した上で再検討、程島地区は水量、落差等の関係で一旦計画を白紙に戻しました。田中地区は計画の見直し、橋詰地区は新たな水利権取得を含めた検討をします。

ると思います。発電設備の機能等とは今回の実験で十分な成果が得られたと伺っています。事業として取り組み可能であれば環境省から施設を譲渡いただく考えでしたが年間を通じて安定した冷却水の確保が困難で、将来的な事業継続を総合的に検討した結果、残念ですが実験位置での事業は断念する旨の報告をしました。今後は湯量制御の配管や施設の改修と大型の爆気槽の建設等により、温泉の有効活用を検討します。②旅館や観光施設への活用が第一義ですが、消雪パイプの延長や農業等への活用も考えられます。29年度に下流域での水量調査をし、冷却水の確保が可能であればバイナリー発電の再



松之山バイナリー発電施設

3期目に向けた意欲と課題を問う

藤巻 誠 議員

質問 2期8年の評価と継続する重点施策と新規に取り組む重点施策

答弁 就任当初から挑戦してきたことが少しずつ光明となってきたと感じています。特に行財政改革を進め、そこから生み出した財源を市民サービスの向上と負担の軽減に充ててきました。また、まちづくり基本条例を施行し、地域自治組織の皆さんと共に協働のまちづくりを進めてきたことで、いろいろな活動をする市民が増えてきました。重点施策については、人やエネルギー等を地方に押し戻すためのさまざまな施策を平成29年度予算に盛り込みましたので愚直に取り組む所存です。

質問 市道等の除雪範囲の拡大と負担率の軽減について

答弁 25年度に対象軒数の緩和、補助率のかさ上げを行いました。市民負担の軽減を図るため、さらなる要件緩和等について前向きに検討します。

質問 職員500人体制の実施と見直しについて①保育所臨時職員の正職員化と臨時職員・作業員のあり方について②大卒事務支援員のその後の去就について③指定管理施設等に採用されている職員の実態と地域への定着について

答弁 ①公立保育園の民営化で正職員が他の園に異動となり、6園の全クラスの担任が正職員となる予定です。今後、民営化が進んだとしても一定程度の臨時職員の皆さんのお力を借りないと通常の保育園運営はできないと考えています。②これまで9人が正職員として採用されたほか、民間事業所に採用された方もいます。市職員の新規採用を継続していきますので32年度をもって終了予定です。③指定管理施設に係る人件費と管理に当たる職員数は把握していますが、各団体の職員の給与体系、職員の地域への定着状況は把握していません。しかしながら、施設所管課が業務上必要と判断した場合には調査を行うこととしています。



保育の様子

地域経済活性化と 産婦検診の導入について

宮沢 幸子 議員

質問 「雪国とおかまちプレミアム商品券」の期待される経済効果と関連する事業について伺います。

答弁 前回実施した際に行ったアンケート結果から約2億3、200万円の新たな消費喚起があったと想定しています。今回は発行額が3分の2です。約1億5、500万円の消費喚起につながると想定しています。商工会議所の景況調査では、発行時の卸、小売業、サービス業の景況DI（景気の経済への波及の度合を表す指標）が顕著に上がっており、今回も同様の効果を期待しています。

質問 省エネ製品の普及は地球温暖化と地域経済活性化につながります。一般家庭の照明器具をLEDに変えるなど、補助事業ができないか伺います。

答弁 一般家庭の省エネルギーを進めるため、改修工事と一体的にLED照明設置を行う場合は、来年度から住宅リフォーム補助事業の対象したいと思います。

質問 安心して妊娠、出産、子育てができるように、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援が必要です。産後ケア事業の現状の取り組みと産婦検診の導入について伺います。



答弁 日々の相談事業の中で産後の育児不安がある方に対し、産後ケア事業を紹介し積極的な活用を推進していきます。たかき医院が独自で実施していたH27年度以前は年間5、6組程度の利用と伺っています。市が補助を開始したH28年度は、12月まで既に年4倍ほどの利用者数となっています。H29年度から国は基準を満たす産後ケア事業を実施する市町村に対し、産婦健診2回分の費用を助成するモデル事業を開始する計画です。産後ケア事業は現在、市の単独事業ですが今後は国の基準に沿った実施を目指すとともに産婦健診の実施についても検討します。

新潟県地域医療構想は十分な検討を 地域産業の振興について

安保 寿隆 議員

質問 県の10年後の医療構想案は、病床数が3、600床減り、在宅医療が5、700も増える。現在、ベッド数が減らされ県内外の施設に送られている現状の打開こそ重要ではないか。

答弁 この3月にサービスつき高齢者住宅がオープンしますが、県外に行かれています。皆さんを当市に呼び寄せたいという介護施設としての方針も聞かせていただきました。施設整備や在宅介護ができるような仕組みづくりを関係者の皆さんと一緒にしていかなければならないと思っています。

質問 県では10くらいの人手不足人材育成のメニューをもっている。市も専門職人材育成のまとまったメニューができないか。

答弁 今回の新年度予算で医師確保策や医学生への研修・宿泊費を支援します。また、市内勤務の若手の先生には研究費の貸与事業等もあり、好評をいただいています。看護師についても同様の支援があります。新たに当市で働きたいという方にしつかり届くように、ホームページなどに掲示し、アピールしていきたいと思っています。

質問 森林の8割を占める膨大な私有林を民間の力も活用して資源化する本

格的な森林整備ができないか。地籍調査の遅れを理由にしているのは、できないのではないかと。地籍調査の遅れを理由にしているのは、できないのではないかと。地籍調査の遅れを理由にしているのは、できないのではないかと。

●2014年の入院状況と2025年の推計

2014年・現状			新潟県の2025年推計		
入院患者数	病床数		入院患者数	病床数	
17,313人/日	高度急性期	3,587床	1,352人	高度急性期	1,802床
	急性期	10,725床	4,587人	急性期	5,881床
	回復期	1,469床	5,271人	回復期	5,858床
	慢性期	6,539床	4,768人	慢性期	5,183床
	県合計	22,320床	15,978人	県合計	18,724床
	住宅医療	22,133人		住宅医療	27,812人
	総合計	44,453人		総合計	46,536人

※2014年の入院患者数は病床機能別に分かれていない。

安保寿隆議員作成

地域内循環経済の拡大と構築を求む

小野嶋哲雄 議員

質問

当市の経済は回復の兆しが見えない。現状の対症療法的な経済施策の延長では真の経済力は強化されない。国の施策を補完する自立可能な長期施策として①地域内循環消費施策の現状、地産地消をグレードアップした人・物・お金を地域内循環させる運動を目的に「産消協働運動」の推進と地産地消を総合的に推進する為に条例制定の考えはないか。②高齢者の交通事故対策と健康寿命の延伸対策として電動シニアカー導入支援制度の考えはないか伺います。

答弁

①地域内循環の仕組みは大変重要だと認識しており、地域内の資源を活用したいという思いは非常に強く持っています。市が主体的にできませんので、そういったお考えのある方から相談があれば、行政的な観点からできる支援はしたいと思います。企業の論理や値段も非常に厳しいですが、その中で地元産のものを納めていくことは、課題はありますが十分可能かもしれません。地元産を活用するよう、ぜひ働きかけていきたいと思っています。そういった面で給食の事業主体は市ですので、まずはそこから始めたいと思います。関係者の連携により、給食の地産地消

●市内総生産額と要介護認定者数の推移

年度	総生産額(億円)	H17対比
17	1,920	—
21	1,600	83.3%
23	1,740	90.6%
25	1,750	91.1%

年度	要介護認定者数(人)	H17対比
17	2,892	—
22	3,151	109.0%
27	3,796	131.3%

小野嶋哲雄議員作成

率はH27年度は38.6%で、目標のH32年度55%に向けて取り組みます。条例となるとハードルは高いですが、産消協働推進の方策は非常に理解できる考え方ですので、施策を重層的に重ね、少しでも効果が出るように頑張りたいと思います。②高齢者の皆さんが生きがいを持って地域で自分らしく暮らすためには、交通手段の確保は重要な課題だと考えています。しかし、個人の購入に対する支援までは今のところ検討はしていません。今後どのような支援ができるかに関し、関係機関の皆様とさらに検討したいと考えています。

中山間地で安心して暮らし続けられる地域づくりについて

鈴木和雄 議員

質問

①農業振興において需給バランスは大事だが市場原理そのもの。再生産が可能な米価はどうあるべきかの論点が大事、どのようにお考えか。②中山間地域は高齢化の進展で、共同作業もままならない状態にある。支援援助をどのようにお考えか。③「基本的な構想」では、山間地集落の「総合的な活性化方策を検討する」としています。④地域・集落は多様な形で暮らしが営まれている。これに対応した支所はどうあるべきとお考えか。またマンパワーが必要だが、今後どのように進めていくのか。

答弁

①より高い価格で取引されるよう市場の皆様から反応していただきたいと思っていますので最終消費者である飲食店の皆様に使っていただくとか、農協やコンビニも含め、高い価格で取り扱っていただくような活動もしています。いろんな立場、場面で重層的に取り組むことで高価格の取引に結び付けられると思いますので、皆様と一緒に活動を進めたいと思います。②中山間地域が持つ特徴と田園回帰の流れによる若者の定住、就農が増えています。トレンドを生かし、さらに価値を高めることが重要と考えています。外部の

人材の活躍なくして活動は難しいと感じますので、今後も中山間地域の価値を高める事業を強力に推し進める所存です。③標高差等で刈取り時期をずらしながら生産組織が中山間地に入ることも考えられます。地域が実情としてどういう課題を抱えているのか見定め、地域ごとに合った対応策を検討したいと思います。④地元に通じた職員配置と一定規模の職員数の維持に努めてきました。現有の職員体制の対応だけでなく、地域の個別課題を少しでも解消、軽減できますよう、重層的な施策を展開し、中山間地域の暮らしが安心して営めるような地域づくりにまい進したいと思っています。



雪下人参収穫準備の様子

3月定例会議決結果

議案番号等	件名	付託常任委員会 審査結果	採決状況	議決結果
市長提案	1 専決処分の承認（平成28年度十日町市一般会計補正予算〔第7号〕）	－	全員賛成	承認
	2 教育委員会委員の任命（佐藤美佐子氏）	－	賛成多数 （投票）	同意
	3 教育委員会委員の任命（庭野三省氏）	－		
	4 固定資産評価審査委員会委員の選任（柳三代治氏）	－	全員賛成	同意
	5 固定資産評価審査委員会委員の選任（高橋正文氏）	－		
	6 固定資産評価審査委員会委員の選任（高橋俊雄氏）	－		
	7 人権擁護委員候補者の推薦（開發周子氏）	－		
	8 十日町市過疎地域自立促進計画の変更	総務文教	全員賛成	原案可決
	9 十日町市田代・清田山辺地総合整備計画の策定	産業建設	全員賛成	原案可決
	10 十日町市清津峡・土倉辺地総合整備計画の策定			
	11 十日町市布川地区交流体験施設条例制定	総務文教 可決	全員賛成	原案可決
	12 十日町市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定			
	13 十日町市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定			
	14 十日町市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定			
	15 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例制定			
	16 十日町市東日本大震災復興基金条例を廃止する条例制定			
	17 十日町市税条例等の一部を改正する条例制定			
	18 十日町市都市計画税条例の一部を改正する条例制定			
	19 十日町市立学校設置条例の一部を改正する条例制定			
	20 十日町市公民館条例の一部を改正する条例制定		賛成多数	原案可決
	21 十日町市越後妻有文化ホール条例制定			
	22 十日町市立小学校及び中学校施設等の使用条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	23 十日町市消費生活センター条例制定			
	24 十日町市西戸屋公園施設条例の一部を改正する条例制定			
	25 十日町市宮中島温泉施設条例の一部を改正する条例制定			
	26 十日町市まつだいふるさと会館条例の一部を改正する条例制定			
	27 十日町市ふるさと・水と土保全基金条例を廃止する条例制定			
	28 十日町市建設基金条例の一部を改正する条例制定			
	29 十日町市公園条例の一部を改正する条例制定			
	30 十日町市まちなかステージ条例の一部を改正する条例制定			
	31 十日町市営住宅条例の一部を改正する条例制定			
	32 十日町市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例制定			
	33 十日町市有住宅条例制定	厚生環境 可決	賛成多数	原案可決
	34 十日町市手数料条例の一部を改正する条例制定			
	35 十日町市寝たきり老人等介護手当支給条例の一部を改正する条例制定			
	36 十日町市重度心身障害児者介護手当支給条例の一部を改正する条例制定			
	37 十日町市介護保険条例の一部を改正する条例制定			
	38 十日町市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例制定			
	39 十日町市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例制定			
	40 十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定			
	41 十日町市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定			
	42 十日町市立保育所条例の一部を改正する条例制定			
	43 十日町市子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定	全員賛成	全員賛成	原案可決
	44 十日町市妊産婦の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定			
	45 十日町市住みよい環境づくり条例の一部を改正する条例制定			
	46 十日町市当間高原リゾート環境監視委員会条例の一部を改正する条例制定			
	47 平成28年度十日町市一般会計補正予算（第8号）	－		
	48 平成28年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	－		
	49 平成28年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）	－		
	50 平成28年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	－		
	51 平成28年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第4号）	－		
	52 平成28年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	－		
	53 平成28年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	－		
	54 平成28年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）	－		
	55 平成28年度十日町市水道事業会計補正予算（第4号）	－		

市長提出議案	56	平成29年度十日町市一般会計予算	予算審査特別委員会可決	賛成多数	原案可決
	57	平成29年度十日町市国民健康保険特別会計予算		賛成多数	原案可決
	58	平成29年度十日町市国民健康保険診療所特別会計予算		賛成多数	原案可決
	59	平成29年度十日町市後期高齢者医療特別会計予算		賛成多数	原案可決
	60	平成29年度十日町市介護保険特別会計予算		賛成多数	原案可決
	61	平成29年度十日町市簡易水道事業特別会計予算		賛成多数	原案可決
	62	平成29年度十日町市下水道事業特別会計予算		賛成多数	原案可決
	63	平成29年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計予算		賛成多数	原案可決
	64	平成29年度十日町市水道事業会計予算		賛成多数	原案可決
	65	損害賠償の額を定めること		賛成多数	原案可決
	66	平成28年度十日町市一般会計補正予算（第9号）		賛成多数	原案可決
	67	平成28年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）		賛成多数	原案可決
	68	平成28年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第5号）		賛成多数	原案可決
議会提案	1	十日町市議会会議規則の一部を改正する規則	賛成多数	賛成多数	原案可決
	2	十日町市議会委員会条例の一部を改正する条例制定	賛成多数	賛成多数	原案可決
	3	閉会中の継続調査の申し出	賛成多数	賛成多数	原案可決

賛否等の状況 賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。
(○：賛成、×：反対、－：欠席) ※議長は議決に加わらず。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	政策クラブ 自由の風				不羈の会				三矢会				礎				日本共産党 十日町市議団				市民クラブ 凛				川田 一幸
				近藤 紀夫	羽鳥 輝子	遠田 延雄	吉村 重敏	藤巻 誠	高橋 俊一	飯塚 茂夫	仲嶋 英雄	庭野 政義	涌井 充	小嶋 武夫	高橋 洋一	鈴木 一郎	村山 達也	小林 弘樹	宮沢 幸子	福崎 哲也	大嶋 由紀子	村山 邦一	安部 寿隆	鈴木 和雄	太田 祐子	小林 均	小野嶋 哲雄	
20	原案可決	20	4	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	※
21	原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	※
42	原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	※
56	原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	※
57	原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	※
59	原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	※
60	原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	※

議会議報

REPORT

総務文教常任委員会視察報告

○平成28年10月18日～20日
■管外行政視察

①奈良県奈良市「奈良文化財研究所」

★「奈良文化財研究所の取り組みについて」
新博物館の建設に当たり、日本でも最も先駆的で先進的な遺跡の発掘・調査・復元・公開・活用といった一連の研究の取り組みと成果について視察を行いました。奈良文化財研究所の研究は、全国の遺跡や遺物の研究、保存・修復・整備に関する研究のみならず、最近では、海外の文化財の保護、修復に役立てる国際支援事業にも関わり、諸外国との共同研究も活発化し「ナブケン」の略称で広く国内外に親しまれ、その規模の大きさと研究の深さに驚かされました。

②奈良県奈良市「興福寺」
★「国宝をはじめとした文化財の展示状況・ボランティアガイドの取り組み状況について」
NPOなら・観光ボランティア

アガイドの会「朱雀」の方の案内で興福寺の建物と文化財を視察しました。興福寺には、100を超える国宝、重要文化財が保存、展示されており、縄文遺跡を有し、博物館新設を計画する十日町市にとって、遺跡の発掘と保存、活用といった課題にどう応えるか、将来を見据えた十分な検討が必要だと感じました。

③横浜市立義務教育学校「霧が丘学園」
★「小中一貫教育の取り組み概要及び義務教育学校への移行後の状況について」
授業改善の促進と学力向上を目指して「横浜型小中一貫教育」に取り組んでいる横浜市において、小中一貫教育をさらに推進するため、平成27年度から全国に先駆けて義務教育学校に移行した霧が丘学園を視察しました。校長の酒井先生からは、「義務教育学校にしたのは、小中一貫教育の実施が目的ではありません。児童生徒や教職員の成長が目的なのです。」「無理なく、あせらず、ゆつくりと、できることから、を合言葉に実施していきます」といった言葉が印象的で、指導者の力量と熱い思いが欠かせないことも実感できた視察でありました。

会派通信

かいほうしん

市民クラブ 自由の風

行政視察報告

東北大震災の発生後、6年が経過している。震災復興の様子と震災・災害に強いまちづくりを現地で学ぶ。

「市民は希望を失い、何をしたいのかわからなかった。現在は、徐々にインフラ整備が進み、周りの状況が落ち着きを取り戻し始め、復興がようやく手の届くところになってきた。しかし、大きな災害は、被害者の人生を大きく変えていくことがある。」と説明員の方が話され、深い悲しみを知りました。

★多摩市 公契約条例制定までの歩み

競争原理の導入で、携わる労働者の賃金や労働条件の低下を生招き、官製ワーキングプアを生

み出していたが、公契約制度を制定することで改善されてきた経緯と現状を学習しました。

★群馬県下仁田町 新たな地域インフラを活用した防災・健康・安全のまちづくりについて

当町は、高齢化が急速に進んでおり、災害時等における情報発信及び受信手段の確保が急務であり、多機能情報端末を活用した取り組みの背景について伺いました。

★千葉県大網白里市

大里綜合管理株式会社^{ところ}野老真理子社長に、たくさんの方々の地域活動をしながらかつ不動産、賃貸、工事、建築、アパートの管理等の仕事に目標達成をめざし頑張っている経営理念について熱いお話を聞くことができました。東北大震災後は、社長を先頭に180回を超える回数に、2,500人以上の方々がボランティアバスで参加し、今も続けていけると力強く話されました。

表紙写真について

今号の表紙は十日町高校写真部の作品です。

十日町高校写真部



現在、2・3年生14名で活動しています。この号が出る頃には新1年生もきつと入部しているはず。技術を高め、感動やドラマのある写真を撮りたいと思います。

議会傍聴

◆市議会 傍聴のススメ

クボタ マサミ 64歳 川西

このたび、縁あってH29年第1回定例会本会議を傍聴する機会を得ました。その理由として、(1)議員の質問項目に知りたい案件があったこと、(2)質問者である議員の活動に興味があったこと、(3)4月に4年に一度の市長及び市議選があること、です。この感想が掲載される頃には、新市長、新市議の誕生による新体制での発進となります。行政と市民が一体となり、より良い十日町市になるよう、あなたの意見を届けてください。傍聴席は54席用意されています。「席が足りない!!」と事務局にうれしい悲鳴を上げさせるのは、ひとりひとりの参加者のなせる技です。

これを目にするあなたに、傍聴をおススメします。

台掌

皆さんも議会を傍聴してみませんか!

次回定例会は 6月中旬です。

いよいよ私たち市議会議員は4年間の活動が終了です。

どの議員も、地域の住民のお話をお聞きしながら、市政発展に向けてあわただしく過ごしてきました。この4年間、合併十周年記念祭や「第二次十日町市総合計画」の策定などがあり、今年中に完成する市民文化ホールや、県立と決まった再建中の十日町病院、ようやく決定した看護専門学校への着手などたくさんの動きが進んでいます。現在の状況をどう捉えるかは市民のお考え次第です。

春の思いを満喫しながら、すでに決まっているはずの新たな市政と向き合ってしっかり歩んでいきましょう。

高橋 俊一

あとがき